

# こども「エコ活。」大作戦！2017

～市内小学生の取組が国内外の環境保全へつながります～

こども「エコ活。」大作戦！は、夏休み中に市内小学生が、「エコライフ・チェックシート」を使って、環境行動に取り組む事業です。その取組を企業が応援し、協賛金が国内外の環境保全活動に寄付されます。

## ◆児童の「エコ活。」

身近なものから環境問題を考えるきっかけとしてもらえるよう、今年度は「食べ物と環境のつながり」をテーマに設定しました。市内小学生（4、5年生）に、「横浜産の野菜・果物などを食べる」「水筒を使う」など、食べ物とかわる省エネ、生物多様性、3R、地産地消などの様々な環境行動にチャレンジしてもらいます。

## ◆企業の応援

横浜市環境保全協議会及び横浜商工会議所の会員企業の皆様が、児童の取組を応援して協賛します。

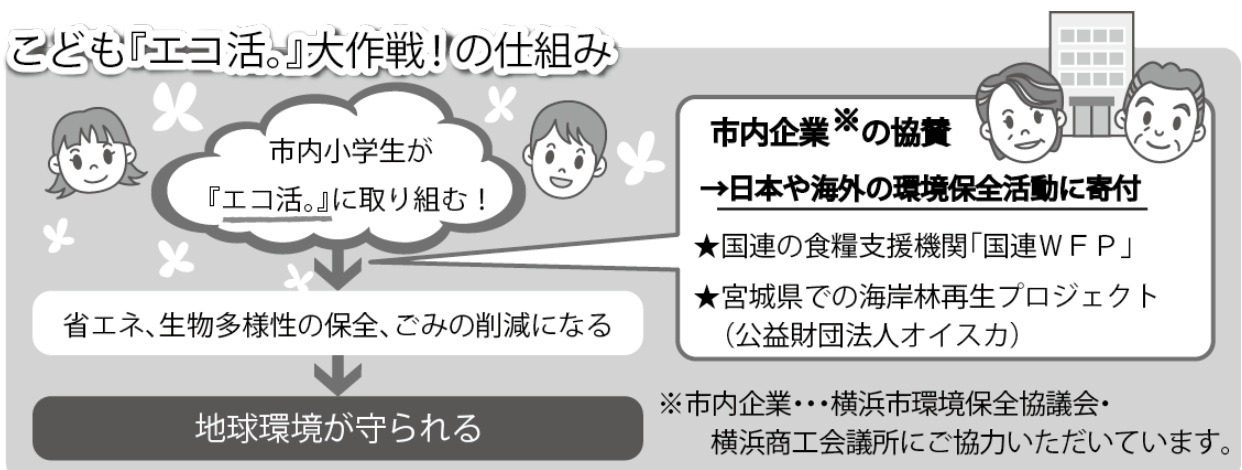


環境行動の普及啓発に継続的にご協力いただいている横浜 DeNA ベイスターズから濱口遥大選手が、こども達へ応援メッセージをくださいました！

## ◆地球環境の保全

協賛金は、国連の食糧支援機関「国連 WFP」が行っているフィリピン・ミンダナオ島での植樹活動と、東日本大震災で被災した東北の海岸林を再生するプロジェクトに役立てられます。（詳細は裏面）

## こども『エコ活。』大作戦！の仕組み



■協賛金により支援する内容は、以下のとおりです。

### フィリピン・ミンダナオ島での植樹活動 (国連の食糧支援機関「国連WFP」)

フィリピン南部に位置するミンダナオ島では様々な自然災害が頻発しており、その多くは違法な伐採や、排水不良などの人為的な問題により悪化しています。ミンダナオ島の環境保全のため、植樹活動などを支援します。

(写真提供：WFP)



### 宮城県での海岸林再生プロジェクト (公益財団法人オイスカ)

東日本大震災により被害を受けた宮城県の海岸林再生を支援します。海岸林の再生は、市民生活はもちろん農業の復興に不可欠です。2033年までに100haの育林、11,000人の雇用を目指し、取組が進められています。

(写真提供：公益財団法人オイスカ)



### 《平成28年度実績》

参加校数	226校
参加児童数	38,383人
協賛企業数	61社・1団体
協賛金	126万円
支援先	フィリピン・ミンダナオ島での植樹活動 宮城県での海岸林再生プロジェクト



お問合せ先	
(こども「エコ活。」大作戦!について)	
環境創造局政策課環境プロモーション担当課長 小川 久美子	Tel 045-671-3830
(協賛金、宮城県海岸林再生プロジェクトについて)	
横浜市環境保全協議会 事務局 神崎 雄介	Tel 045-671-7470
(フィリピン・ミンダナオ島での植樹活動について)	
国連WFP協会 事業部 井戸 みゆき	Tel 045-221-2515